

「聖ローズ・フィリピン・デュシェーン新世界への出発200年祝」に参加いたしました

2018年11月18日、「聖ローズ・フィリピン・デュシェーン新世界への出発200年祝」が開催されました。

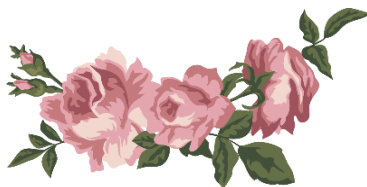
今年は、フィリピン・デュシェーンがマグダレナソフィアの思いとともに、フランスから新大陸アメリカに出発してから200年になります。フィリピン・デュシェーンの根気強い祈りと勇敢な行動により、聖心が世界へ広がっていく第一歩となりました。

この度のお祝い会は、デュシェーンの思いを共有し、聖心会員と聖心の家族の皆様でお祝いをするものです。

参加をご希望される方も多くいらしたと存じますが、茂仁香会での参加人数制限がありましたので、今回は、皆様を代表して役員で、参加させていただきました。



奉納品



お祝い会は、ミサ～シンポジウム～茶話会が行われました。

ミサでは、デュシェーンの意向をこめて、各同窓会ごとに奉仕活動を行い、それを奉納いたしました。

茂仁香会では、北海道地震の際の皆さまの助け合いや寄付活動、東京支部で継続して行っている「石狩はななす館」の昆布販売を通じた支援活動の様子をまとめ、奉納させていただきました。ご協力いただきました皆様に、御礼申し上げます。

シンポジウムは宮代ホールに会場を移して、4名のお話がありました。フィリピン・デュシェーンの生きた時代や新世界での困難のお話、日々の生活の中でフィリピン・デュシェーンの教えがどのように息づいているかなど、大変興味深いお話でした。

茶話会では、軽食とお茶をいただきながら、学年、姉妹校を越えて、皆様と交流を持つことができ、大変楽しい時間を過ごしました。皇后さまが御臨席になり、各同窓会の皆様にお声をおかけくださり、感激とともに、あたたかなひとときとなりました。



一粒の麦が大地に落ちて、やがて成長し多くの実を結ぶように、たとえ小さなことからでも「今、何ができるのか、何をすべきか」を皆が考え、行動をしていくことで、より良い未来に繋がっていくのだということを、深く心に刻んだ一日となりました。

